

社協だより

2015.12.24

77号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

みんなでささえあい
雫石町歳末助け合い

～ささえあいの気持ち～

歳末助け合い

チャリティーショー開催!!



もくじ

- ◆新規事業：金銭管理サービス・財産保全サービスの紹介 … 2～3 P
- ◆平成26年度雫石町社会福祉協議会事業報告 … 4～5 P
- ◆平成27年度社協会費報告・日赤社資報告 … 6 P
- ◆平成27年度赤い羽根共同募金運動報告・第68回若手県社会福祉大会 … 7 P
- ◆西山保育園だよりVOL.15 … 8 P
- ◆お互い様情報交換会 … 9 P
- ◆まちの福祉 … 10～11 P
- ◆お知らせ … 12 P

11月29日(日)に開催されたチャリティーショーで、オープニングを飾った雫石保育園児の元気いっぱいのお遊戯の様子です。

詳しくは、10Pをご覧ください。

『金銭管理サービス事業』・『財産保全サービス事業』 始めました!!

～高齢者等の皆さま！金銭管理・財産管理で困っていませんか？～



深谷 詩子 生活支援員



吉井 主税 生活支援員

支援担当者の紹介
現在、日常生活自立支援事業（あんしんネット）で活動している「生活支援員」が定期的にご利用者宅を訪問して、支援を行います。
現在、二人の「生活支援員」が支援活動を行っています。

以下の場合、サービスの利用ができなくなります。

- ・ご利用者が死亡した場合
- ・認知症等により意思能力が喪失したと判断された場合
- ・栗石町外へ転出した場合
- ・他制度（あんしんネット・成年後見制度）へ移行した場合
- ・他に管理してくれる方が見つかった場合

財産保全サービスの内容

財産紛失を防ぐため、金庫にて保管します。

- (1) お預かり出来るもの
 - ・預貯金の通帳
 - ・株券
 - ・証書（保険証券、権利証、契約書等）
 - ・実印、印鑑登録カード
 - ・金融機関届出印 等
- (2) お預かり出来ないもの
 - ・宝石、貴金属、書画、骨董品等
- (3) 注意事項
 - ・資産運用、財産処分は行いません。

財産保全サービス利用料（1年間）

期 間	金 額
1年間（4月1日から翌年3月31日）	1,200円
年度途中開始の場合月割	

サービス提供までの流れ

来所または電話にて相談を受付ます。

自宅等に訪問し、お話を伺います。

利用ご希望確認の上、申込書等を提出します。

内容を確認後、契約を取り交わします。

サービス利用開始となります。

金銭管理サービスの内容

支援計画に基づき、次のサービスを行います。

- (1) 日常的な金銭管理
 - ・生活費の払戻し（預貯金の出納代理・代行）
 - ・公共料金等の支払い
 - ・以上に伴う通帳・印鑑の預かり
- (2) 相談
 - ・金銭に関することの相談
 - ・一般的な相談
- (3) 郵便物の管理
 - ・郵便物の内容確認
 - ・役場等への必要な手続きの支援

金銭管理サービス利用料（1ヶ月）

時 間	金 額
60分以下（1時間）	1,000円
90分以下（1時間半）	1,500円
120分以下（2時間）	2,000円

こんなことでお困りではありませんか？

①日常的な金銭の管理に不安がある。



②身体が不自由等で金融機関に行けない。



③自分が亡くなったあと、障がいのある子どもの将来に不安がある。



④物忘れが多くなり、大切な物をどこへ置いたのか忘れる。



栗石町社会福祉協議会では、高齢者及び心身に障がいがあることによって、金銭管理や財産の保管などに不安があり、他の社会資源のサービス活用（日常生活自立支援事業・成年後見制度）が難しい方を対象に、新しく金銭管理サービス事業・財産保全サービス事業を開始しました。
地域に根差し、安心して自立した生活を営むことが出来るように高齢者や障がいのある方々を応援します。

どんなサービスなの？

日常的な金銭管理（銀行での出金や公共料金等の支払い）、財産管理などに不安をお持ちの方を支援する事業です。

※なお、日常生活自立支援事業【愛称：あんしんネット】が利用されるまでの繋ぎの事業となります。

相談は無料です。

ご本人様以外でも、ご家族など身近な方、民生児童委員などを通じてのお問合せにも対応します。

相談にあたってはプライバシーに配慮し、秘密は必ず守ります。

連絡先

栗石町社会福祉協議会
TEL 692-2230

まずはご相談下さい。

※日常生活自立支援事業について詳しくは次号をご覧ください。

誰が利用できるの？

次の全てに当てはまる方が対象となります。

- ①栗石町在住の高齢者
- ②または障がい者
- ③契約能力がある方
- ④在宅生活をされている方

※サービスの利用にあたり、財産引渡者を設定していただきます。財産引渡者がいない場合は、サービスのご利用はできませんので、ご了承ください。

●財産引渡者とは・・・

ご本人様に万が一の事があった場合に、預かっている物件を全て引き取っていただく方となります。

平成26年度
雫石町
社会福祉協議会
事業報告

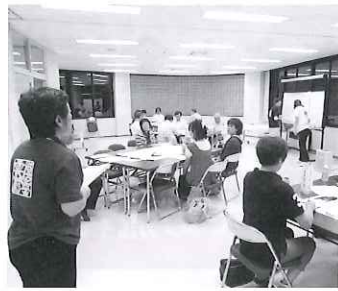
社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とする団体として、地域福祉の推進機関として位置づけられています。地域に暮らす皆様の協力のもと、子どもからお年寄りまで暮らしやすい福祉社会の実現を目指し、事業を実施しました。

組織体制の整備

- 理事会の開催 5回
- 評議員会の開催 2回
- 監査会の開催 7回
- 役員研修会の開催
- 西山保育園の運営

地域活動事業の実施

- 地域福祉活動計画策定に係るワークショップの開催 町内4ヶ所
- 地域福祉活動計画策定委員会開催 2回
- 第17回めぐりあい事業の開催
- 社協だよりの発行 3回
- 社協ホームページの開設
- 町社会福祉大会の開催



「地域福祉活動計画策定に係るワークショップの開催」
 第二次雫石町社協地域福祉活動計画策定にあたり、町内4地区で、地域の課題や地域の資源等把握を行いました。

児童福祉事業の実施



「青少年ボランティアスクール」
 7月31日、平成25年8月に発生した雫石町豪雨災害の振り返り、被害のあった場所の見学や土嚢作り等の活動に、雫石中学校生徒26名が参加しました。

- 放課後児童クラブの運営 町内8クラブ
- 子育て支援事業の実施 延べ340名
- ・ボランティアによる託児
- ・子育て情報交換会の開催
- ・ちびっ子ルーム
- 「ばけっと」の開放
- ・各種イベントの開催
- ・一人親家庭子育て支援事業
- 青少年ボランティアスクールの開催
- 町福祉協力校指定事業の開催
- 学校への福祉人材の派遣

ボランティア活動センター事業の実施

- ふれあいサロンの普及拡大 現在25サロン設置
- ふれあいサロンスタッフ研修会
- 災害ボランティア講習会の開催 4回
- 各種養成事業の実施
- ボランティア情報誌
- 「ばらっと」の発行 6回
- ボランティア団体意見交換会の開催



「災害ボランティア講習会」
 平成25年8月の豪雨災害を振り返り、災害に対する基本知識の習得と、災害ボランティアとして活動する際に必要な知識・技術向上を目的に全4回コースで開催し、延べ154名が参加しました。

介護保険事業の実施

- 訪問介護事業（ヘルパー）の実施
- 居宅介護支援事業（ケアマネ）の実施
- 相談支援事業の実施**
- 介護相談
- 子育て相談
- ボランティア相談
- 結婚相談
- 弁護士による特別相談所の開設
- 生活支援ワーカーによる
- 障がい者相談所の開設
- よろず相談室の開設

高齢者・障がい者福祉事業の実施

- 合同金婚式の開催 7組参加
- 一人暮らし老人 昼食会の開催 4回
- 福祉演芸大会の開催 延べ600名
- いわてお元気見守りシステムの導入
- 精神障がい者ヘルパーの実施



「一人暮らし老人昼食会」
 町内在住の75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に交流を図るとともに、福祉サービス等について学習することを目的とした交流会を年4回実施し、計134名が参加しました。

在宅福祉事業の実施



「雫石町スノーバスターズ」
 1月～2月までの毎週土曜日、町内のボランティア、雫石中学校生、雫石高校生等の協力を経て、対象者世帯の玄関先の除雪や安否確認を行いました。

- 在宅昼食サービス事業の実施 延べ6223食
- おでかけ援助サービス事業の実施 延べ683件
- 在宅介護者リフレッシュ事業の実施 年2回
- 介護教室の開催（男の介護教室） 年6回
- スノーバスターズ事業の実施 延べ413世帯



「福祉有償運送運転者講習会」
 おでかけ援助サービス事業に従事する運転手として、必要な資格・技能の習得を目的に講習会を開催しています。

基本事業の実施

- 助け合い金庫の貸付
- 生活福祉資金の貸付
- 各種福祉団体への支援
- 共同募金運動の実施
- ・赤い羽根共同募金運動実績 2,451,035円
- ・歳末助け合い募金運動実績 3,368,741円



「歳末助け合いチャリティーショーの開催」
 歳末助け合い募金運動の一環として、町内の福祉関係団体の協力を得て、開催しており、例年多くの方々にご来場いただいております。

各種支援事業の実施

- 日常生活自立支援事業の実施 延べ242名
- 老人クラブ事業の実施 44クラブ 会員1,428名
- 日本赤十字事業の実施
- ・日赤社運運動実績 2,506,900円

貸借対照表 総括表

平成27年3月31日現在（単位：円）

資産の部	
科目	金額
(流動資産)	31,382,403
預貯金	27,133,576
事業未収金	4,248,827
(固定資産)	262,414,436
基本財産	132,227,914
基本財産特定預金	100,000
建物	132,127,914
(その他の固定資産)	130,186,522
構築物	383,598
車両運搬具	2,689,820
器具及び備品	8,356,669
長期貸付金	1,210,890
退職給付引当資産	43,158,545
福祉基金積立資産	21,387,000
保育所繰越積立資産	9,500,000
保育所施設・設備整備積立資産	43,500,000
資産の部合計	293,796,839

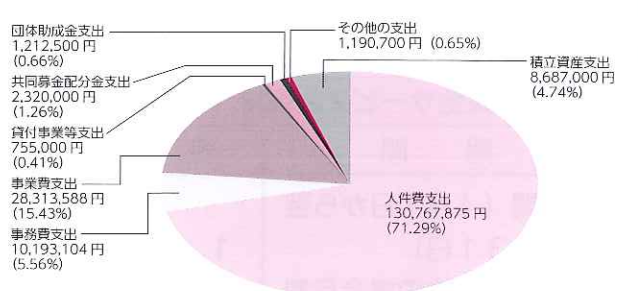
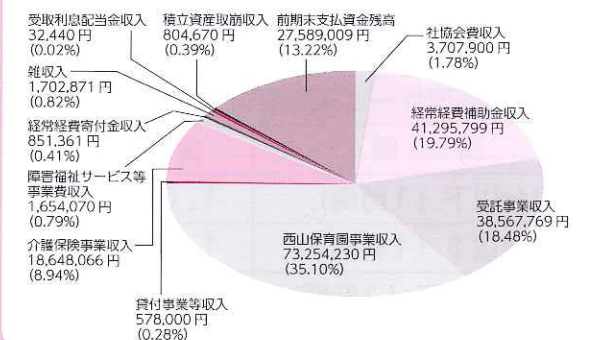
負債の部	
科目	金額
(流動負債)	6,135,985
事業未払金	5,009,898
預り金	1,126,087
(固定負債)	43,158,545
退職給付引当金	43,158,545
負債の部合計	49,294,530
純資産の部	
科目	金額
基本金	100,000
国庫補助金等特別積立金	67,593,724
(その他の積立金)	74,387,000
その他の積立金	21,387,000
人件費積立金	9,500,000
保育所施設・設備整備積立金	43,500,000
次期繰越活動収支差額	102,421,585
純資産の部合計	244,502,309
負債及び純資産合計	293,796,839

決算報告 資金収支計算書(法人総合) 平成26年4月1日～平成27年3月31日

※平成26年度より、本法人では新会計への移行に伴い、本法人で運営しております、西山保育園の会計も本決算に含まれておりますので、ご理解下さいますようお願い致します。

収入 208,686,185円

支出 183,439,767円



平成27年度赤い羽根共同募金運動 報告

平成27年度赤い羽根共同募金法人等募金実績

①法人募金 (単位:円)

法人名	金額
岩井建設(株) 様	10,000円
岩手大崎電気(株) 様	10,000円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000円
(株)しずくいし 様	5,000円
雫石プリンスホテル 様	5,000円
新岩手農業協同組合雫石支所 様	5,000円
仙建工業(株) 様	5,000円
(株)中村建設 様	5,000円
手作りアイスクリーム牧舎 松ぼっくり 様	5,000円
ホテル加賀助 様	5,000円
長栄館 様	3,000円
雫石タクシー(有) 様	3,000円
合 計	81,000円

②職域募金

法人名	金額
雫石町役場職員一同 様	41,995円
ビッグブルズイベント募金	6,036円
雫石町社会福祉協議会職域募金	5,271円
合 計	53,302円

①法人募金計 81,000円

②職域募金 53,302円

合 計 134,302円

～自分の町を良くするしくみ～

総額 **2,449,012円**

(平成27年12月15日現在)

74 行政区 ・ 4,628 世帯

10月1日より「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動を全国一斉に展開しております。今年度も各行政区長さんを通じて、町民の皆様よりたくさんのご協力をいただきました。また、町内の企業等からも、たくさん募金を頂戴しております。お寄せいただいた赤い羽根共同募金は全額、岩手県共同募金会へ送金され、より住み良い町づくりに役立つように、社会福祉施設や社会福祉団体、ボランティア団体等へ助成されます。たくさんのご協力本当にありがとうございます。また、現在皆様よりご協力をお願いしております。歳末助け合い募金運動の結果につきましては、次号の社協だより内にてご報告いたします。皆様のあたたかい気持ちに深く感謝申し上げます。

平成27年度社会福祉協議会会費結果 報告

皆様のご協力ありがとうございます。

総額 **3,719,800円**

(平成27年6月30日現在)

74 行政区 ・ 4,651 世帯

平成27年4月から行政区長さんを通じて、各世帯に「雫石町社会福祉協議会会費」のお願いをしていただいた結果、総額3,719,800円の会費のご協力をいただきました。これも町民皆様の福祉に対するご理解と社会福祉協議会への期待の表れと感じており、より一層精進して雫石町の福祉の発展に尽力していかなくてはと感じております。今年度、皆様よりお預かりした社会福祉協議会会費は、新規事業を始めとし、町民皆様のより身近でわかりやすい事業へと活かしてまいりたいと思っております。たくさんのご協力に心から感謝いたします。

平成27年度社会福祉協議会会費の主な利用用途

事業名
地域子育て支援事業
おでかけ援助サービス事業
一人暮らし老人昼食会
ボランティア協力校助成金
第39回雫石町社会福祉大会
第18回めぐりあい事業 (結婚相談事業)
総合相談事業
広報活動事業
援護活動事業

平成27年度日赤社資運動実施結果 報告

平成27年度日赤雫石町分区分
法人社資協力事業所名

(単位:円)

法人名	金額
ヒラコ・プランニング 様	50,000
休暇村岩手 様	10,000
岩手大崎電気(株) 様	10,000
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000
岩井建設(株) 様	10,000
雫石スキー場 様	10,000
(株)航和 様	10,000
(株)中村建設 様	10,000
(株)パーツ産業 様	10,000
(株)菊池工業 様	5,000
手作りアイスクリーム牧舎 松ぼっくり 様	5,000
篠村建設(株) 様	5,000
新岩手農業協同組合雫石支所 様	5,000
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	5,000
小岩井乳業(株)小岩井工場 様	5,000
千葉燃料店(有) 様	5,000
(有)なかゆ食品 様	5,000
ホテル森の風鶯宿 様	5,000
晴山ホンダ販売(有) 様	5,000
(有)細川新聞店 様	5,000
(有)木文商店 様	5,000
長栄館 様	3,000
計	193,000

総額 **2,509,500円**

(平成27年12月15日現在)

社資 2,316,500円 (74 行政区・4,639 世帯)
法人 193,000円 (22 企業協力)

5月を赤十字社資募集月間として、行政区長さんを通じて、赤十字社資の募集をお願いしましたところ、総額2,509,500円の金額が集まりました。今年度お寄せいただいた社資は、全額日本赤十字社へ6月30日に送金しました。大規模な災害発生時には医療救護班を被災地へ派遣しての巡回診療や救護物資の配付等、被災者の支援活動に役立てられます。また、身近なところでは、町内で火災等の災害が発生した際に、被災世帯に対し、毛布・日用品セット等の救護物資をお見舞い品として配付しております。今後とも、赤十字活動について、町民皆様のご理解・ご協力をいただきますよう充実した活動に取り組んでまいります。

受賞おめでとうございます



細川 圭子 氏
(長根)

岩手県知事感謝状
(在宅介護者) 2名
多年にわたり在宅要介護者の介護を行っていた功績



平井 正道 氏
(中町2・3)



林崎 正邦 氏
(林崎)

岩手県知事表彰
(民生委員・児童委員) 3名
多年にわたり民生委員・児童委員として社会福祉事業の推進に貢献した功績



櫻田 長栄 氏
(葛根田)

岩手県民生委員児童委員協議会長表彰
(永年勤続民生委員・児童委員) 1名
通算12年にわたり民生委員・児童委員として在任した功績



赤坂 シズミ 氏
(晴山)

岩手県社会福祉大会会長褒賞
(在宅介護者) 1名
多年にわたり在宅要介護者の介護に携わった功績



小野寺次男 氏 畑山 尚三 氏



高橋牧之助 氏

岩手県社会福祉大会会長表彰
(永年勤続功労者) 3名
多年にわたり社会福祉事業に従事した功績

第68回岩手県社会福祉大会
共に生き、共に支える
福祉社会の実現を目指して
紹介します。

平成27年11月11日(水) 第68回
岩手県社会福祉大会が岩手県民会館で開催されました。

社協もみなさんの地域におじゃましています!!!! 地域コミュニティ形成推進事業 『お互いさま情報交換会レポート』



今年度は大地震を想定し、自宅から地域で決めている一時避難所までの避難経路の確認を行い、避難経路の確認だけでなく、避難行動要支援者名簿を住民のみなさんで確認し、自分の地域に助けを必要とする方の情報共有を図っています。

また、避難経路の危険箇所も併せて行い住宅地図へ書き込みを行って行います。書き込みが行われた地図は地域コミュニティに返却し、公民館等に張り出していただき、皆さんで確認することができます。

① 避難経路の確認

今年度より、地域コミュニティ形成推進事業では、地域福祉活動の一つとして、平成25年8月に発生した雲石町豪雨水害時の経験を踏まえ、住民相互の支え合い・助け合いの意識を高めることを目的に「お互いさま情報交換会」を地域コミュニティにおいて開催しています。

社会福祉協議会では、民生委員児童委員協議会の事務局やボランティア活動センターの運営を行っており、また、ふれあいサロンの設置や出前講座、各種相談事業の周知を行うために、「お互いさま情報交換会」へ同行させていただいています。

今回は、中間報告ということで、「お互いさま情報交換会」で行われている三本柱について紹介します。

ところで、なぜ、今さらながら「お互いさま情報交換会」を地域で行わなくてはならないのか。情報交換会へ行くと、参加者の方から時折、質問されることがあります。

なぜ、お互いさま？

社協や行政から地域福祉やボランティア、健康づくりなどについて情報提供を行うほか、地域の皆さんが普段の生活で気になっていることや、困っていること等について参加者全員で情報交換を行います。

③ 情報提供・情報交換

町内には、民生委員・児童委員が五十九名おり、みなさんの地域の身近な相談役となっています。

また、民生委員が独自で行っている見守り活動と地域コミュニティが行っている見守り活動について情報交換をすることにより、効率的な見守り体制について話し合います。

② 民生委員活動の紹介と見守り活動

一昔前までは、隣近所のこと家族構成から、誰が、どこに勤めていて、何時には仕事から帰ってくる、隣の嫁さんはどこから来た...などお隣さんが把握している時代がありました。もちろん、そこには地域の伝統行事があつて、地域の中で盛んに人が集まる場があり、まさに「地域コミュニティ」＝「地域内の住民同士のつながり」が存在していました。

しかし、少子・高齢化の進行や働き方など生活様式の変化により、身近な生活課題に対する家族や近隣同士での助け合い、地域のつながりなどが希薄化しているのが現状です。

阪神・淡路大震災では、近所同士の見守りや支え合う力、すなわち地域コミュニティがしっかりといた地域では災害被害が少なく、その後の立ち上がりも早かったことは多くの方に知られています。

もちろん、災害発生時だけではありません。子どもを狙う犯罪や事故、高齢者の孤独死などを防ぐためには、地域の見守りや支え合いがあれば防げる可能性があるものが多くあります。

この情報交換会は、見守り体制の構築だけではなく、自分の地域の現状を知り、「自分の地域がこうだったらいいな。」という思いを皆さんで語り合う場でもあります。

今年度の「お互いさま情報交換会」でのまとめは次号に掲載します。

11月28日土曜日、西山保育園にて「西山キッズ発表会」が行われました。たくさんのお客様を前にして緊張気味の子どもたちでしたが、大きな声で歌ったりお遊戯を披露することができました。子どもたちの可愛い姿に、会場内も笑顔に包まれていました。



西山キッズ発表会



大丈夫です！背中あいてますよ！



とても優しい若者の名前は？「うらしまたろう」



「お母さんはどこかな？」



「どんぐり、ちょうだい！」



仲良く一緒に「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド・ソ・ド〜」



まちの福祉

「福祉に関する情報コーナー」

報

みんなでささえあう あったかい地域づくり

「平成二十七年歳末助け合いチャリティーショー開催」

11月29日（日）雲石町中央公民館にて、「平成27年度歳末助け合いチャリティーショー」が開催され、寒い中にも関わらず、たくさんの方にご来場頂きました。

今回のチャリティーショーでは、雲石保育園の園児によるかわいらしい演舞や町内福祉関係団体による工夫をこらした演芸が披露されました。また、特別出演では、「中川愛子社中」の楽しい歌謡ショーもあり、会場は一段と華やかな雰囲気になりました。どの演芸も観客に笑顔と



盛り上げよう！岩手国体♪



町婦人会一同による劇
～皆さん、詐欺には気をつけ
ましょう！！～



お目当ての
中川愛子社中歌謡ショー

元気を与え、終始会場には笑い声が響き渡りました。他にも、ロビーでは、町内の企業・町民の皆さんから提供頂いた品物によるチャリティーバザーや会場内で行われた募金活動では、中川愛子社中の皆様の協力を頂き、多くの募金が寄せられました。今回皆様にご購入いただいたチケットやバザーの収入、会場募金は、町共同募金委員会に歳末助け合い運動の励みとして贈呈されました。

報

今年も美味しいお弁当お届けしました。

「ボランティアグループ「クラブ男厨会」

11月19日（木）「クラブ男厨会」では、町内に住む75歳以上のひとり暮らし高齢者交流会「鶴の会」において、手作りお弁当のお届けと交流を図りました。

この事業は毎年開催しており、「クラブ男厨会」会員の皆さんが、早朝からひとつひとつのメニューを丹精込めて手作りしたものを、お弁当にして一人暮らし高齢者の皆さんにお届けし、交流を図っているものです。

交流会に参加された29名の「鶴の会」参加者の方からは、「男性でもこんなに美味しい料理できるんだなあ。」「お弁当は、美味しいし色合いもいい。」「毎年、男厨会さんとの交流も楽しみにしている。」と皆さん



いつもより多い量に気合が入っています!!



楽しそうに交流する男厨会と参加者



男厨会の皆さんありがとうございました♪

ん心待ちにされています。

この「クラブ男厨会」とは、「男子、厨房に入る会」の略称で、平成24年度まで福祉センター主催の生きた教室の参加者で結成されたボランティアグループで、「品格のある人生を豊かにする。」を活動のテーマに掲げて、毎月1回料理教室を開催し、腕を磨いています。

現在、会員は町内の60歳以上の男性19名で、年間活動の中には、銀河100キロマラソン大会参加選手への豚汁2000食のおふるまいなども行っており、会員の料理の腕前を高めるだけでなく、社会貢献を目的にした活動も展開しています。

相

あなたのお悩み話してみませんか?

「相談事業のお知らせ」

①総合相談所開設のお知らせ

皆さまのあらゆる悩みごとが、少しでも解消できるように、弁護士を始め、各種専門家による総合相談会を年4回開催しています。

今後の日程・内容について紹介します。お悩みがある際はご活用下さい。

★開催日程

平成28年2月24日（水）

13時30分～16時まで

★開催場所

雲石町総合福祉センター

★相談料

無料

★相談内容

・相続など法律問題

・障がい者に関する問題

・人権・消費生活・介護・生活福祉

資金・子育て・結婚・ボランティア

ア等に関する相談など

★相談担当

・法律相談：弁護士

・障がい者相談：支援ワーカー

※以上2つは予約が必要です。

ほか、人権擁護員、消費生活相談員、

社会福祉士、生活福祉資金担当者、

心配ごと相談員が担当します。

★その他：秘密は厳守します。



②よろず相談室開設のお知らせ

自分自身のこと、家族のこと、職場の人間関係、お金のことなど誰かに相談したいけど、相談しにくい、話せないことなどはありませんか?

町社協では、そんな話にくいことから、世間話しまで幅広く相談に応じるために、標記相談室を開設しております。今後開催の日程、内容についてお知らせいたします。

★開催日時・場所

①平成28年1月27日（水）

会場：雲石町総合福祉センター

②平成28年2月24日（水）

会場：雲石町総合福祉センター

③平成28年3月2日（水）

会場：御所地区健康増進センター

④平成28年3月9日（水）

会場：西山地区構造改善センター

⑤平成28年3月16日（水）

会場：御明神地域振興センター

⑥平成28年3月23日（水）

会場：雲石町総合福祉センター

※いずれも、13時30分～16時まで

★相談料

無料

★相談に当たる人

・心配ごと相談員、消費生活相談員、生活福祉資金担当者

★その他：秘密は厳守します。

※「こんな話：」と一人で悩まずに、世間話をしながら一緒に考えましょう。

報

第2回雲石町老連輪投げ大会

12月3日（木）寒さが厳しくなってきた中、雲石町営体育館を会場に、総勢40チーム、約210名が参加し、熱戦を繰り広げました。

競技終了後には、優勝者の模範演技が披露され、会場の視線を集めました。普段会えない方と交流ができたのも、参加者にとっても楽しみの一つとなっており、会場は、笑顔と笑い声で溢れていました。

当日の上位入賞者を紹介します。

○団体の部

優勝

板橋結友会A

準優勝

東小松小松会A

林崎寿楽会B

○個人の部

優勝

杉下 憲助（東小松）

準優勝

村上 直栄（林）

3位

八重樫 光雄

（板橋）

上村 雅生

（駒木野）

（敬称略）



優勝された杉下さんによる模範演技

報

雲石町福祉の職場合同説明会を開催しました。

全国で介護職員不足が叫ばれる中、雲石町内では特に人材が不足しています。

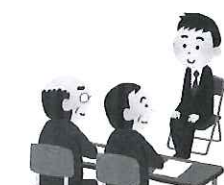
そのため、雲石町内の福祉施設・事業所等で、就職を希望する方や福祉の職場に興味のある方を対象に、個別面談で事業所紹介や職員採用案内を行うほか、福祉の職場に必要とされる資格や適性等の情報を提供し、福祉の職場への就職を促進するため、標記説明会を開催しました。

今年は6月6日（土）と11月7日

（土）に、町内の福祉施設が一同に集合し、町内で働きたい方達に対して、職場の説明をしました。

この説明会では、個別に相談ができるため、聞きたいことを何でも聞けると、参加者の皆様から好評を頂いており、就職に繋がった方もおります。

今後も継続して、開催を予定しており、開催の際には各世帯に、チラシを配布しますので、ご興味ある方、ご参加をお待ちしております。



このひとに聞く！

ふ だんの くろしの し あわせ

こちらは町内の方に福祉について考えていること
感じていることをインタビューするコーナーです



まえざわ つよし
前澤 剛史さん (36歳・上町1・2)

プロフィール

東京にて洋菓子店を経営。

将来自分で食材を育てながら、店を経営したいと思い、全国各地で農業体験を行い、食材の生産方法や地域について学んでいる。

今年の10月に、食を通じて観光客を呼び込むという目的に賛同し、『地域おこし協力隊』として、栗石町に着任する。

趣味はサッカー観賞・食べ歩き。

町の新たな魅力を発見します!!

●栗石町での活動の目的は？

全国各地でボランティアをしながら、多くの人に出会い経験をし、助けられてきました。今度は、自分が地域に対して、何か協力したいと思ひ、地域おこし協力隊に参加しました。

栗石町は、景色・空気・アクセス環境も良く、生活しやすい環境がそろっている町だと思ひます。

地域おこし協力隊として自らが栗石町に定住し、町

の新たな魅力を発掘することが目的です。そして、発掘した情報を発信し、栗石町に多くの方を呼び込みたいと考えています。

●どのような活動をするの？

全国を旅していると地元でしか味わうことができない郷土料理が多くありました。そこで、栗石町の様々な郷土料理を、「おじゅっこ料理」として、全国に広めていきたいと考えています。

現在、栗石町の各地域を歩き、地域の特色やどんな料理があるのか勉強をしています。

○栗石町社協だより

●平成27年(2015年)12月24日 第77号

発行／栗石町社会福祉協議会

〒020-0541 岩手県岩手郡栗石町千刈田82番地2

TEL: 019-692-2230 FAX: 019-691-1140
e-mail: shizuku-shakyo@shisha.or.jp
ホームページ: http://www.shisha.or.jp

やさしいまごころを
ありがとうございます

(平成27年6月から11月までの間に、寄せられた寄付について、お知らせいたします。)

寄付金

○第15回よしやれの全国大会

一般の部優勝者 山本 樹 様

20,000円

(福祉活動のために)

○第15回よしやれの里栗石G・G

交流大会実行委員会 様

20,000円

(福祉活動のために)

○匿名希望

300,000円

(福祉活動のために)



車両の寄贈

・軽自動車 1台

○一般社団法人 日本ゴルフツアー機構
ジャパンゴルフツアー選手会

会長 池田 勇太 様



物品寄付

・チャイルドシート 1台

匿名希望

編集後記

今年も、あと少しで終わりとなります。今年も、あつという間に過ぎ去った一年でした。その中で、多くの方々に出会い、たくさんのご協力をいただきました。今後、多くの繋がりを大切にし、地域に愛される社協になれるよう、地域福祉の向上に取り組んでいきたいと思ひます。

(春)